15日 木曜

創世記

24:15 しもべがまだ言い終わらないうちに、見よ、リベカが水がめを肩に載せて出て来た。リベカはミルカの子ベトエルの娘で、ミルカはアブラハムの兄弟ナホルの妻であった。
24:16 この娘は非常に美しく、処女で、男が触れたことがなかった。彼女は泉に下りて行き、水がめを満たして上がって来た。
24:17 しもべは彼女の方に走って行って、言った。「どうか、あなたの水がめから、水を少し飲ませてください。」
24:18 すると彼女は、「どうぞ、お飲みください。ご主人様」と言って、すばやくその手に水がめを取り降ろし、彼に飲ませた。
24:19 水を飲ませ終わると、彼女は、「あなたのらくだにも、飲み終わるまで、水を汲みましょう」と言った。
24:20 彼女は急いで水がめの水を水ぶねにあけ、水を汲みに、再び井戸まで走って行き、すべてのらくだのために水を汲んだ。
24:21 この人は、【主】が自分の旅を成功させてくださったかどうかを知ろうと、黙って彼女を見つめていた。
24:22 らくだが水を飲み終わったとき、その人は、重さ一ベカの金の飾り輪と、彼女の腕のために、重さ十シェケルの二つの金の腕輪を取り、
24:23 尋ねた。「あなたは、どなたの娘さんですか。どうか私に言ってください。あなたの父上の家には、私どもが泊めていただける場所があるでしょうか。」
24:24 彼女は答えた。「私は、ミルカがナホルに産んだ子ベトエルの娘です。」」
24:25 また言った。「藁も飼料も、私たちのところには、たくさんあります。それに、お泊まりになる場所も。」
24:26 その人は、ひざまずき、【主】を礼拝して、
24:27 こう言った。「私の主人アブラハムの神、【主】がほめたたえられますように。主は、私の主人に対する恵みとまことをお捨てになりませんでした。【主】は道中、この私を導いてくださいました。主人の兄弟の家にまで。」
24:28 その娘は走って行って、母の家の者に、これらのことを告げた。
24:29 リベカには兄がいて、その名をラバンといった。ラバンは外へ出て、泉のそばにいるその人のもとへ走って行った。
24:30 彼は、飾り輪と、妹の腕にある腕輪を見、また、「あの人が私にこう言われました」と言った妹リベカのことばを聞くとすぐに、その人のところに行った。すると見よ、その人は泉のそば、らくだのそばに立っていた。
24:31 そこでラバンは言った。「どうぞ、おいでください。【主】に祝福された方。なぜ外に立っておられるのですか。私は、お宿と、らくだのための場所を用意しております。」
24:32 それで、その人は家の中に入った。らくだの荷が解かれ、らくだに藁と飼料が与えられ、彼の足と、一緒にいた従者たちの足を洗う水も与えられた。

Bible Reference 聖書の記述

生まれ故郷から妻を迎えるようにとの、主人アブラハムの指示でしたが、詳細はしもべに委ねられていました。彼は自分に任せられたといって、一存で決めたのではなく、あくまでも主の御心を求めました。

祈り方というものには色々あります。自分で結果を決めて、または「御心はこうだ」と初めから決めて、そうならないのは信仰が足りないからだと思う祈り方。御心を教えてくださいと求め、御心だと確信するために、何かの現象を求める祈り方。そして御心を求め、その確信のために御ことばをいただく祈り方などです。

もしも自分で決めてしまっているなら、それに気付くためには共同体があります。しもべは信仰の主人に従いました。また現象に根拠を置くのは不確実です。今私たちには聖書があります。

しもべは自分の祈りが答えられましたが、だからといって高慢にならずに、あくまでも、生まれ故郷から迎えよとのアブラハムの方針に従って、リベカの出身を尋ねました。主に用いられる人はこのような、謙遜な祈りの人です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？